

2020年度 第15回 国家資格キャリアコンサルタント試験

(キャリア協) 実技試験(論述) 解答例(中里)

※今回から、出題の形式が変わりましたね。きちんとした「逐語」ではなく、ざっくりした逐語様式になりました。そして、キャリアコンサルティング技能士検定2級試験の論述内容(見かけは違いますが)にぐっと近づいた出題になりました。むしろ、以前よりとてもわかりやすく(解答しやすく)なったように思います。

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」(略A)の記載に相当する、Zさんがこの面談で相談したいことは何か。面談記録を手掛かりに記述せよ。(10点) 2行

「現在課長をしているが、最近中心メンバーの相次ぐ退職でショックを受け、仕事にも大きな穴が開き、今後どのように仕事を進め、課を運営したらよいかわからなくなり、自身のモチベーションが下がっている。」

【設問2】 事例記録の下線Bについて、このケースを担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。(10点) 2行 (今回は、②で書きます)

「相談者の発言は、部長から指摘された言葉やどのように言われたかなど表面的な部分しか語られないため、指摘されたことで起こった表面化されていない相談者の内的感情を引き出すための質問である」

ちなみに、①であれば、「部長から指摘されたことで起こった表面化されていない相談者の内的感情」になると思います。

【設問3】 あなたが考えるCLの問題(①)とその根拠(②)について、CLの言動を通じて、具体的に記述せよ。(20点) 2x10点 2行・3行

- ① **問題** 課内の業務や課題について部下などとシェアせず相談者が一人で抱えるなど、職務内容理解不足である。また、「時間がない」と部下の相談に乗ることもせずコミュニケーション不足である。
- ② **その根拠** 「業務量が増え休日出勤もある」などの発言により、業務を一人で抱え職務内容理解であると言える。また、部下の不満にも「どうすることもできない問題」「部下の自律性を育てろというから任せている」などから、勝手に思い込み、部下とのコミュニケーションが取れていないことがうかがえる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。(10点) 6行

課長としての役割を全うしようと努力している姿勢を労い、モチベーションが下がっている気持ちを受容する。その上で、課全体の仕事内容やその分担について、また、効率化などの課題について、他の課でうまく運営している課長に相談してみるよう促す。さらに、部下とのコミュニケーションについても、ランチミーティング、チームミーティングなどを積極的に持つなどして部下と信頼関係を深めてみてはどうかと提案する。そして、課長が一人で業務を抱えない流れを課全体でシェアすることで、相談者がまたモチベーションを保ちながら前向きに仕事を進められるよう支援する。